

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第15号

第15週(4月7日～4月13日)

発行年月日:平成15年(2003年)4月18日

発行:滋賀県立衛生環境センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (15週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (15週)	全国 (15週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	143	6	693
	パラチフス	0	0	9	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	131	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	1	2	133	6	453
	エキノкокクス症	0	0	5	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	0	262	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	29	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	25	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	3	232	6	888
	ツツガムシ病	0	1	32	0	329
	梅毒	0	1	127	4	561
	破傷風	0	1	19	0	105
	レジオネラ症	0	0	36	1	166

\*平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.60	0.55	0.60	0.14	0.13	1.43	1.14	0	
咽頭結膜熱	0.53	2.43	0	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.63	0.43	2.50	0	0.20	0.25	0	0	
感染性胃腸炎	4.94	7.43	11.33	3.25	0.80	2.00	0.50	5.50	
水痘	1.50	1.86	3.17	1.00	0.80	0.75	0.75	1.00	
手足口病	0.16	0.43	0.17	0	0	0	0	0.50	
伝染性紅斑	0.19	0	0.33	0.25	0	0.50	0.25	0	
突発性発疹	0.41	0.14	0.50	1.00	0	0.25	1.00	0	
百日咳	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0.09	0	0	0	0	0.75	0	0	
流行性耳下腺炎	0.69	0	1.33	0	0.40	0.25	1.25	3.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	1.00	0	1.00	0	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

定点当たり患者数

0 2 4 6 8

### 3)今週のトピックス

## インフルエンザウイルスAH1型(Aソ連型)の検出 重症急性呼吸器症候群(SARS)の患者発生状況

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、咽頭結膜熱、A群溶連菌咽頭炎、百日咳および麻疹の定点当たり患者数が増加しています。また、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

インフルエンザウイルスの検出については、3月6日に採取された咽頭ぬぐい液から**インフルエンザウイルスAH1型(Aソ連型)**が検出されました。県内における今シーズンのインフルエンザウイルスAH1型(Aソ連型)の検出は今回がはじめてです。また、国内においても、今シーズン(2003年第13週現在)では初めての検出例と思われる。

**インフルエンザ**については、定点当たり患者数は0.60となり減少傾向が続いています。また、全国においても定点当たり患者数が1.0を下回る都道府県が多くなっています。

**咽頭結膜熱**については、大津保健所管内の定点当たり患者数が2.43と多くなっています。

**麻疹**については、彦根保健所管内の定点当たり患者数が0.75と多くなっています。麻疹の報告は、平成14年第46週～平成15年第14週までありませんでした。今後の動向に注意が必要です。

**流行性耳下腺炎**については、先週より減少していますが、今津保健所管内における定点当たり患者数が3.00と多くなっています。

### SARSの累積「可能性例」報告数<sup>a</sup>(国立感染症感染症情報センターのHPより)

(平成14年11月1日<sup>b</sup>～平成15年4月16日)

国名	累積症例数	WHOによる新 聞の更新以降 の新規症例数	転帰		地域内 伝播 <sup>d</sup>
			死亡者数	回復者数 <sup>c</sup>	
ブラジル	2	0	0	0	なし
カナダ	103	3	13	37	有
中国	1432	14	64	1094	有
香港(中国特別行政区) <sup>e</sup>	1268	36	61	257	有
台湾(中国)	27	4	0	10	有
フランス	5	0	0	1	なし
ドイツ	6	0	0	4	なし
インドネシア	1	0	0	0	なし
イタリア	3	0	0	2	なし
日本	1	0	0	0	なし
クウェート	1	0	0	0	なし
マレーシア	5	1	1	0	なし
フィリピン	1	0	0	1	なし
アイルランド共和国	1	0	0	1	なし
ルーマニア	1	0	0	1	なし
シンガポール	162	0	13	85	有
南アフリカ	1	0	0	0	なし
スペイン	1	0	0	0	なし
スウェーデン	1	0	0	0	なし
スイス	1	0	0	1	なし
タイ	8	0	2	5	なし
英国	6	0	0	3	有
米国	193	0	0	未入手	有
ベトナム	63	0	5	46	有
計	3,293	58	159	1,548	

注：・累積症例数は死亡数を含む

・重症急性呼吸器症候群(SARS)は除外診断であるので、症例の報告状況は時々刻々と変わりうる。したがって以前に報告された症例でも、その後の調査と経過観察により削除される可能性がある。

a 国ごとの症例定義の違いにより、「可能性例」は米国を除くすべての国から報告されており、米国では調査中の疑わしい例を報告している。

b 現在はSARSと確認された中国の異型肺炎の症例を含めるために、サーベイランス期間の開始日を平成14年11月1日に変更した。

c 各国の公衆衛生当局が、「退院」あるいは「回復」したと報告した症例を含む。

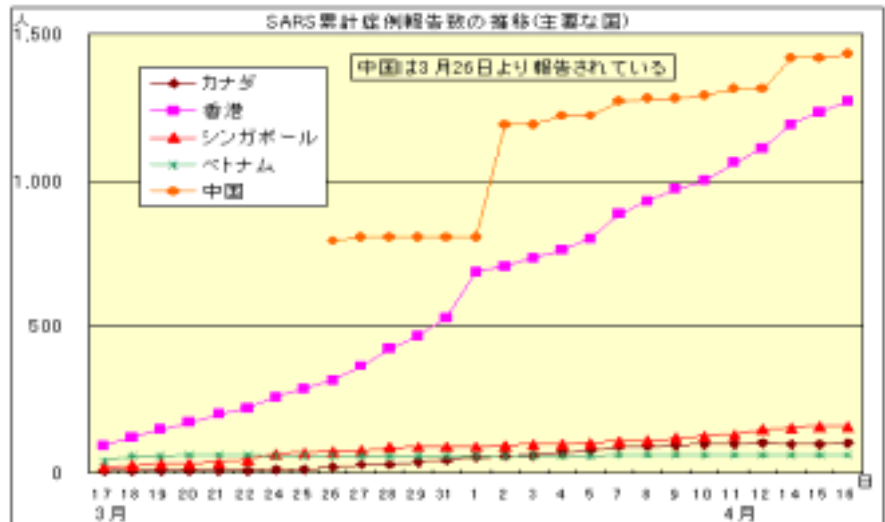
d 各国の公衆衛生当局は、地域内において感染伝播鎖の確認された地域をWHOに報告している。これらは、伝播確認地域のリストに示されている。

e 香港における死亡例はベトナムから医療移送された1例を含む。

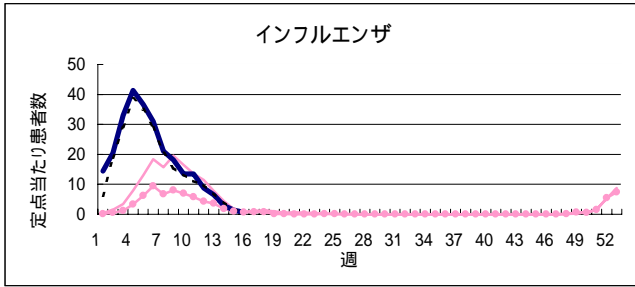
### SARSの累計症例報告数の推移

(平成15年4月16日現在)

-東京都感染症感染症情報センターのHPより-

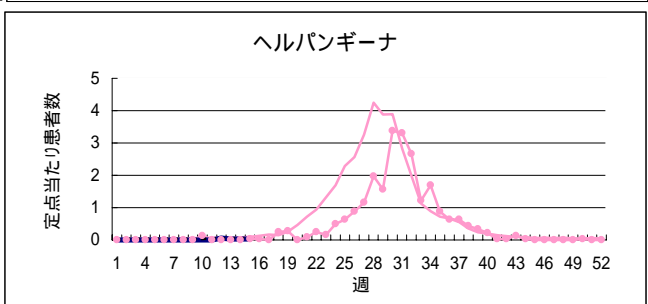
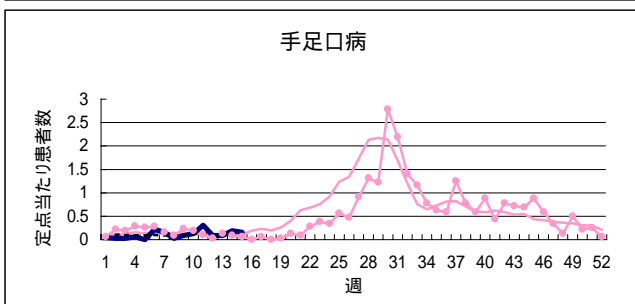
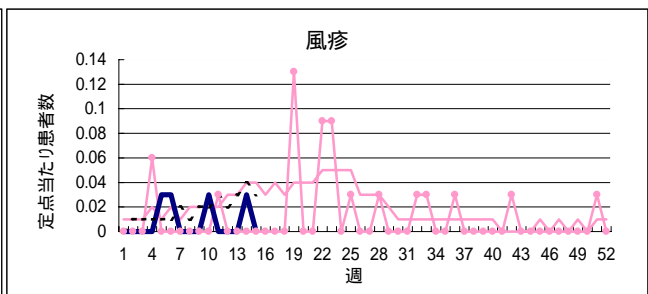
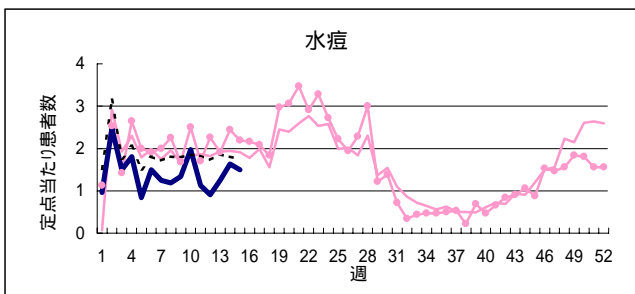
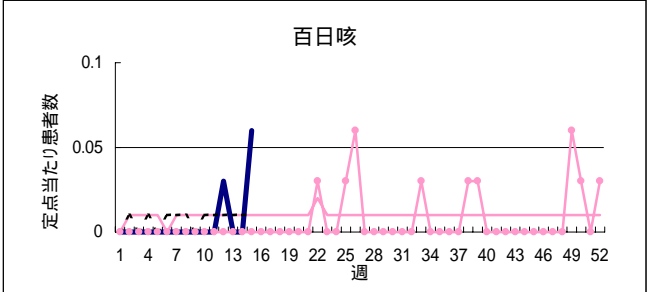
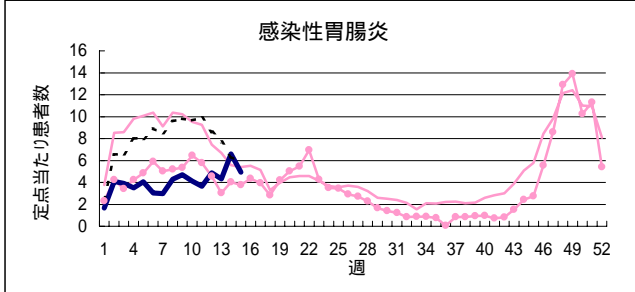
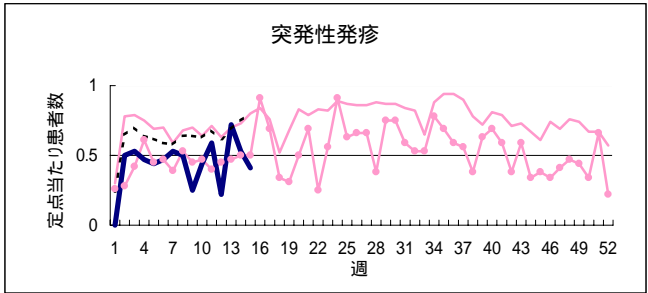
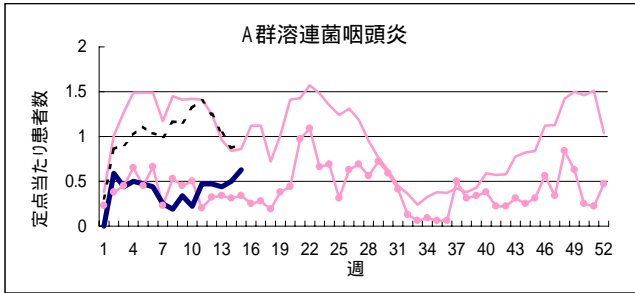
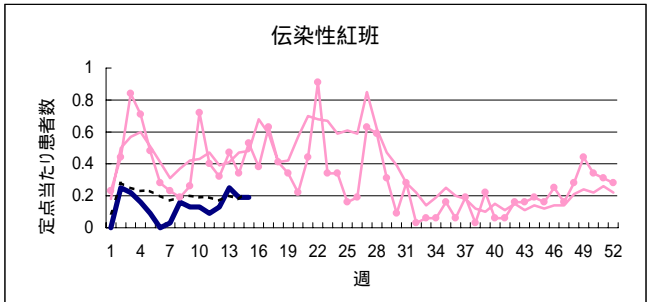
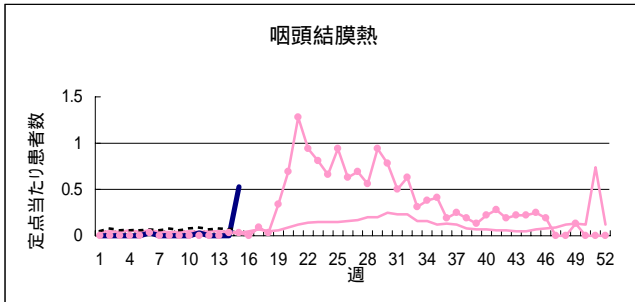


# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第15週)



H14 { 滋賀 (solid pink line)  
 全国 (dotted pink line)

H15 { 滋賀 (solid blue line)  
 全国 (dotted blue line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第15週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○  
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 - - - - -

